



報道関係者各位

2021.4
福田美術館

企画展 「美人のすべてリターンズ」 開催



「美人のすべて」がさらに充実して戻ってきました

2020年春に開催された企画展「美人のすべて」は好評いただいていたにもかかわらず、新型コロナウイルスの感染拡大に伴いやむなく会期中で閉幕となりました。

そこで2021年4月、「美人のすべてリターンズ」と称し、新たな作品を加えさらに充実したラインナップで再構成した美人画展を開催いたします。

春爛漫の嵐山で、福田美術館が誇る華やかな美人画の数々をどうぞご堪能ください。

日時	2021年4月24日(土)～ 2021年7月4日(日) 10:00～17:00 (最終入館16:30)
休館	毎週火曜日 ※但し5/4・5/5は開館、5/6は休館
料金	一般・大学生 ¥1,300(1,200)/高校生 ¥700(600) 小中学生 ¥400(300) 障がい者と介添人1名まで 各¥700(600) ※()内は20名以上の団体
主催	福田美術館・京都新聞



栗原玉葉「のぞみ」

池田蕉園・幻の作品「もの詣で」を114年ぶりに公開

池田蕉園（明治19-大正6／1886-1917）は東京出身の女流画家で、師である水野年方が上村松園（1875-1949）の活躍にあやかろう「園」の一字をとって「蕉園」と名付けました。その期待通り、美人画の名手として上村松園と並び称されましたが、惜しくも31歳で早世。今回再発見された「もの詣で」（右）は21歳頃に制作され、第1回文展で3等賞を受賞した作品で、出品後長らく行方不明となっていた「幻の作品」です。



上村松園「長夜」部分

また、その文展の3等賞においては、上村松園の「長夜」が第1席でしたが、同作品も福田コレクション。本展で114年ぶりに2つの作品が同時に展示されることとなります。



池田蕉園「もの詣で」部分



池田蕉園「もの詣で/春の日」二曲一隻屏風

福田コレクションの上村松園作品をすべて見せます



上村松園「美人観月」部分



上村松園「初雪」部分



上村松園「雪女」部分

言わずと知れた美人画の第一人者・上村松園（1875-1949）は、女性が画家として生きることが困難だった時代に独自の美人画で道を切り開き、その功績により女性として初の文化勲章を受章しました。本展では前回初公開で話題となった「雪女」を含む松園の世界をご堪能ください。福田美術館所蔵作品24点をすべてを、前期・後期に分けて公開いたします。

今回は特別に「夢二美人」を追加！



竹久夢二「長崎十二景 青い酒」部分

2Fパノラマギャラリーには、前回の「美人のすべて」展には無かった、竹久夢二による美人画のコーナーを設けました。「長崎十二景」（前期展示）や「女十題」（後期展示）をはじめ、「夢二式」と呼ばれ一世を風靡した女性像の数々をご紹介します。

作品総数	105点（前期：70点／後期69点）
初公開作品	約10点
担当学芸員	國永裕子（くにながゆうこ）
広報	中島真帆（なかじままほ）
前期／後期	前期：4/24（土）～5/31（月） 後期：6/2（水）～7/4（日）

美人のすべて プレス用画像一覧_1

01.池田蕉園「もの詣で／春の日」
(通期展示)



02.上村松園「美人観月」
(後期展示)



03.上村松園
「花のさかづき」
(通期展示)



04.上村松園
「姉妹之図」
(後期展示)



05.上村松園「長夜」
(前期展示)

06. 山川秀峰「振袖物語」
(通期展示)



★ 07. 伊藤小坡
「製作の前」
(通期展示)



★ 08. 伊藤小坡
「雪の朝」
(前期展示)



09. 上村松園
「美人詠歌図」
(通期展示)



10. 竹久夢二「長崎十二景
(青い酒)」 (後期展示)



11. 安藤広重
「美人と猫図」
(前期展示)

12. 竹久夢二
「春娘図」
(通期展示)



福田美術館について

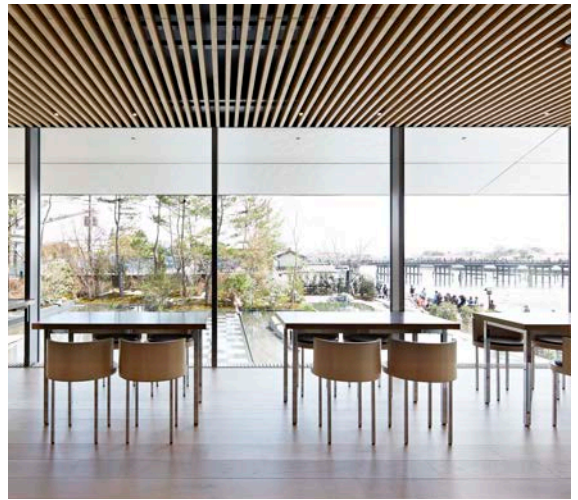
美しい自然と日本美術の融和。日本文化の新たな発信拠点として

美術館の建つ京都・嵯峨嵐山は古来歌枕でもある場所で、多くの貴族や文化人に愛され芸術家たちが優れた作品を生み出す源泉となってきました。

福田美術館は、「100年続く美術館」をコンセプトに、現代まで受け継がれてきた日本文化を次世代に伝え、さらなる発展へと繋ぐ美術館を目指します。

オーナーである福田吉孝は京都に生まれ育ち、そこで事業を興し、今日まで続けてきたことに対し、地元の方々のご支援とこの地に恩返しをしたいという思いから、2019年10月、美術館の設立に至りました。

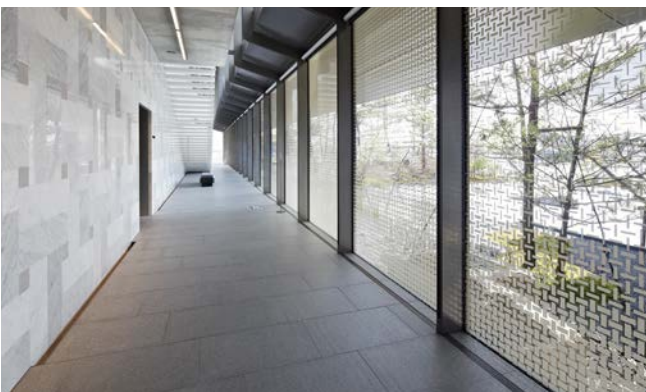
今や日本国内だけでなく、世界中から多くの人々が訪れる観光地である嵐山。その中でも渡月橋を望む大堰川（桂川）沿いの景勝地に位置し、四季折々でそれぞれに変化する風景は1000年変わらず人々を魅了する。この美しい自然とともに日本美術の名品を愉しむことで、嵐山が世界有数の文化発信地となることを願います。



嵐山にふさわしい、未来へむけた日本建築の形

福田美術館の建築を手掛けた安田幸一氏は、「蔵」をイメージした展示室や外の自然とのつながりを感じられる「縁側」のような廊下など、伝統的な京町家のエッセンスを踏まえつつ、これから100年のスタンダードとなるような新しい日本建築を目指しました。

また、庭には大堰川に連なる水鏡のごとく嵐山を映し出す水盤が設けられており、渡月橋が最も美しく一望できるカフェからは最高の眺めを味わうことができます。



福田美術館概要

- 名称：福田美術館／Fukuda Art Museum
- 住所：〒616-8385 京都府京都市右京区嵯峨天龍寺芒ノ馬場町3-16
- 電話番号：075-863-0606（FAX）075-863-0607
- メールアドレス：info@fukuda-art-museum.jp
- ホームページ：<https://fukuda-art-museum.jp>



- 敷地面積：1982㎡
- 延床面積：1193.58㎡
 - ・ 展示室1／151.2㎡
 - ・ 展示室2／175.4㎡
 - ・ 展示室3／64.5㎡
- 交通アクセス：
 - ・ JR山陰本線「嵯峨嵐山」駅下車、徒歩12分
 - ・ 阪急嵐山線「嵐山」駅下車、徒歩11分
 - ・ 嵐電（京福電鉄）「嵐山」駅下車、徒歩4分



本展に関するお問い合わせ

福田美術館 広報事務局（ウインダム内）

TEL 03-6661-9448 FAX 03-3664-3833

Email fukudamuseum@windam.co.jp

〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-28-9-4F

「福田美術館」広報事務局

担当：沼澤、多田